

世紀末から20世紀へ Part XVII

〈シェーンベルクの音楽作品〉

『月に憑かれたピエロ 作品21』を中心にして

アルノルト・シェーンベルク
生誕150年記念

Arnold Schönberg (1874-1951)

4つの歌曲 作品2

第1曲《期待》

第2曲《君の金色の櫛を僕におくれ》

第3曲《高揚》

第4曲《森の日差し》

ブレットル・リーダー (キャバレー・ソング) より

《ガラテア》

《分をわきまえた愛人》

《ギガレット》

月に憑かれたピエロ 作品21

他

フルート & ピッコロ

高橋聖純

クラリネット & バスクラリネット

菊地秀夫

ヴァイオリン & ヴィオラ

漆原啓子

チェロ

藤森亮一

指揮

川島素晴

Takeko Nagashima



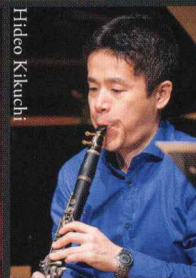
Minoru Umemoto



Seijun Takahashi



Hideo Kikuchi



Motoharu Kawashima



Kyochi Fujimori



Keiko Urushihara



長島剛子・梅本実
リットデュオ・リサイタル

2024年10月22日 [火]

19:00開演 (18:30開場)

東京文化会館 小ホール

全席自由 一般4000円 / 学生3000円

このリサイタルは国立音楽大学個人研究費 (特別支給) の助成を受けています。

後援：公益社団法人日本演奏連盟
日本アルバン・ベルク協会



長島剛子 Takeko Nagashima ソプラノ

国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修士課程独歌曲専攻修了。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。その後ケルン音楽大学マスタークラスにてリート解釈法の研鑽を積む。1998年に「長島剛子・梅本実 リートデュオ」を結成し、声楽とピアノによる緊密なコラボレーションにより、19世紀末から20世紀のドイツ歌曲の演奏と紹介を軸に継続的な活動を続けている。1998年、2001年札幌市民芸術祭大賞、平成14年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。青木恵美子、伊藤京子、尾畑真知子、H.クレッチマー、白井光子、H.ヘル各氏に師事。これまでに「架空庭園の書〜新ウィーン楽派の歌曲を集めて」、「光の中のベルリン〜第三帝国で禁じられた歌曲」、「遠望〜ヘルダリーンの歌曲」、「至福の憧れ〜ゲテ歌曲の現在」の4枚のCDをリリース。また「新ウィーン楽派によるドイツ歌曲集 シェーンベルク／ベルク／ヴェーベルン」(音楽之友社)の楽譜を監修。現在、国立音楽大学及び大学院教授。日本演奏連盟、日本アルバン・ベルク協会各会員。

梅本 実 Minoru Umemoto ピアノ

東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程器楽専攻(ピアノ)修了。ドイツ・デットモルト北西音楽大学卒業。さらに引き続きハンブルクにて研鑽を積む。帰国後東京、札幌、福岡各地でソロリサイタル開催。札幌交響楽団、九州交響楽団と共演。またドイツ歌曲の共演ピアニストとして各地で幅広い活動を続けている。勝谷壽子、伊達純、R.F.クレッチマー、C.ハンゼンの各氏に師事。文部省在外研修員としてドイツ・カールスルーエ音楽大学において白井光子・H.ヘルのドイツ・リート解釈法クラスで学ぶ。札幌市民芸術祭大賞(1999年、2002年)、第9回道銀芸術文化奨励賞(2000年)、第29回札幌文化奨励賞(2001年)、平成14年度文化庁芸術祭優秀賞(2003年)受賞。北海道教育大学助教等を経て、現在、国立音楽大学及び大学院教授、学長。日本演奏連盟会員。



長島剛子・梅本実 リートデュオ・リサイタル
世紀末から20世紀へ Part XVII (シェーンベルクの声楽作品)
『月に憑かれたピエロ 作品21』を中心にして

2024年10月22日 [火] 19:00開演 (18:30開場)

全席自由 一般4000円/学生3000円

ご予約・お問合せ(マネジメント): オフィシャルシュ TEL03-3565-6771
<https://www.officearches.com>

チケット取扱い
東京文化会館チケットサービス TEL03-5685-0650
チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード277017
イープラス <https://eplus.jp>

東京文化会館 小ホール

東京都台東区上野公園5-45

12時〜13時 上野駅1分 東京メトロ上野駅17番出口5分



pia



高橋聖純 Seijun Takahashi フルート & ピッコロ

東京都出身。1997年、国立音楽大学を首席で卒業し矢田部賞を受賞。99年より数多くのオーケストラ奏者を輩出したドイツの名門シュトゥットガルト国立音楽大学に留学。2001年札幌交響楽団に入団し翌年から副首席奏者、12年から20年3月に退団するまで首席奏者を務める。07年には第12回びわ湖国際フルートコンクールにて第1位。ソリストとしてもこれまでにモーツァルト作曲フルートとハーブの協奏曲、尾高尚志作曲フルート協奏曲、バッハ作曲管弦楽組曲第2番、武清徹作曲海へIIを札幌交響楽団と共演。17年秋にはモーツァルト作曲フルート協奏曲第1番をウィーン室内管弦楽団と共演し好評を得た。2020年4月より国立音楽大学准教授に就任。これまでにフルートを大友太郎、岡崎明義、ジャン・クロード・ジェラルド、パウル・マイゼンの各氏に師事。現在、国立音楽大学准教授。

菊地秀夫 Hideo Kikuchi クラリネット & バスクラリネット

桐朋学園大学卒業。クラリネットを二宮和子氏に師事。日本現代音楽協会主催コンクール「競楽II」にて第2位。ドイツ・ダルムシュタット音楽祭にて奨学生賞受賞。アンサンブル・ノマドのメンバーとして活動し現在に至る。同アンサンブルメンバーとして、サントリー音楽財団第2回佐治敏三賞及びウィーン・フィル&サントリー音楽復興記念賞を受賞。ヨーロッパ、アジア、中南米各国の音楽祭で招待演奏を行う。国立音楽大学及び尚美学園大学非常勤講師。

漆原啓子 Keiko Urushihara ヴァイオリン & ヴィオラ

高い技術力と深みある音楽性で飛躍する本格派ヴァイオリニスト。第8回ヴィニャフスキ国際コンクールにおいて最年少18歳で日本人初の優勝。その翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年ハレー・ストリング・カルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。ソリスト、室内楽奏者としての活動はいずれも高く評価され円熟期を証明している。国内外の音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。国際的に活躍する。CDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、レコード芸術特選盤に選出されるなど注目を浴びている。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は音楽ファン、指揮者、オーケストラメンバー等の音楽家の間でも高い支持を得ている。現在、国立音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。

藤森亮一 Ryoichi Fujimori チェロ

京都生まれ。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞受賞。1987年NHK交響楽団に入団。1990年ドイツに留学、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。モルゴア・カルテットとして1998年村松賞、2010年アリオン賞他受賞多数。チェロ四重奏「ラ・カルティエーナ」として2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授。

川島素晴 Motoharu Kawashima 指揮

作曲家として、1996年ダルムシュタット・クラニーヒシュタイン音楽賞、1997年芥川作曲賞、2017年一柳慧コンテンポラリー賞等を受賞。2017年から作品個展を開催、以来毎年異なる個人や団体を迎えて個展を開催している他、2020年からは毎回異なる題材によるリサイタルシリーズも開始。アンサンブル東風の指揮メンバーをはじめ、ピアノ他様々な演奏活動も展開している。「題名のない音楽会」をはじめとしたTV番組への出演も多く、現代音楽を中心とした企画、講演なども多数行っている。(一社)日本作曲家協議会副会長。国立音楽大学准教授。